

みちのく アカデミア

9月期開講

使用するテキスト

第5～6回 『働く女子の運命』 濱口桂一郎著／文春新書

『ジョブ型雇用社会とは何か』 濱口桂一郎著／岩波新書

『働き方の男女不平等』 山口一男著／日本経済新聞出版社

講師：植田 真弘（NPO法人 参画プランニング・いわて理事長、岩手県立大学名誉教授他）

第5回

賃金は専門知識、経験、資格の有無等によって異なる水準に設定されており、格差のすべてを「不当」「差別」と断ずることはできません。日本は男女間賃金格差が異常なほど大きくなっています。今月は、「格差の実態」「なぜ格差が大きいままなのか」「格差は差別か」について濱口桂一郎氏の一連の著書をテキストにして学んでいきます。

第6回

男女雇用機会均等法（1985年）以降、現在に至るまでの動向を就労環境の変化（前進？）について、法制度と企業慣行の両面から概観する。また、ゴールディン、濱口両氏が提言しているこの問題に対する解決策を紹介する。それらを素材にして自身の経験したり感じていることを踏まえて参加者で意見交換する予定。

日時：第5回 9月6日（金）
第6回 9月20日（金）
18：30～20：45

会場：第5回 起業応援ルーム芽でるネット
（プラザおでって1F）
第6回 もりおか女性センター
生活アトリエ
（プラザおでって5F）

定員：10人程度

料金：月額1,000円
（資料代込）

申込：要事前予約

文献を読み解き、参加者との意見交換を通じて参画活動の方向性を探る

戦争、貧困、格差、差別、環境破壊といった20世紀に積み残された宿題は、21世紀に入れば人類のえい智が結集されて解決に向かって前進すると多くの人は期待していました。しかし残念ながら、これらの諸課題は「複雑化、拡大・深化」していると言わざるを得ません。

法制度の未整備、排他主義・利己主義の蔓延、市場経済制度の行き詰まり等、諸要因は指摘されていますが、現代社会は複雑化、多様化し、私たちが論点を把握し課題に向けた取り組み課題を見出すことが難しくなっています。

そこで、上述した社会の諸課題を取り上げている文献を読み解き、参加者との意見交換を通じて、論点を整理し、私たちの思考・活動の指針を得ることを目的とした講座を開講いたします。

